

# ライブラリーニュース 5月号

笠岡商業高校 図書視聴覚課&図書委員会

2012. 5.21 発行 NO.3

新学期が始まって1ヶ月以上が過ぎました。

**みなさん、本を読んでいますか??**

あまり読んでいない人は、自分で時間を見つけてドンドン読書してください。  
本を読むことはきっと自分のためになるはずです。

今回は、6月の芸術鑑賞の内容についてと、図書委員のおすすめの本を3冊紹介したいと思います。

## 図書委員おすすめの本

『ナミヤ雑貨店の奇蹟』 東野 圭吾 著



あらゆる悩みの相談に乗る、不思議な雑貨店。  
しかしその正体は……。物語が完結するとき、  
人知を超えた真実が明らかになる。

すべての人に捧げる、心ふるわす物語。  
笠商図書室でも予約が多数入っています。

『三匹のおっさん』 有川 浩 著



還暦ぐらいでジジイの箱に蹴り込まれてたまるか、と  
かつての悪ガキ三人組が自警団を結成。剣道の達人・  
キヨ、柔道の達人・シゲ、機械いじりの達人の頭脳派・  
ノリ。ご近所に潜む悪を三匹が斬る！その活躍はやが  
てキヨの孫・祐希やノリの愛娘・早苗にも影響を与え  
…。痛快活劇シリーズ始動。

とても読みやすい、おもしろい本です。

※『三匹のおっさん ふたたび』も人気の予感！！

『都会（まち）のトム&ソーヤ1』 はやみねかおる 著



クラスメイトの創也の秘密を、偶然知ったぼく、内人。そ  
の日から、塾通いに追われる退屈な生活が、がらりとかわ  
った。創也といると、冒険がむこうからやってくるんだ。  
とにかく、おもしろいです！！

1～10巻まで図書室にあります。

# 芸術鑑賞 6/6 実施

今年の芸術鑑賞は『和太鼓演奏 志多ら (したら)』です。

志多らは、和太鼓・篠笛を中心に演奏活動しているプロの和太鼓集団です。

国の重要無形民俗文化財の東栄町東菌目「花祭り」に「志多ら舞」を奉納。

実際に太鼓をたたく (たたこうコーナー) もあり、

「観る」「感じる」「楽しむ」「体験する」

和太鼓の響きを存分に味わい、観客と一体となったステージが楽しめます。

## 「志多ら」の語源

平安時代、農民達の間で広く信仰された神、志多良 (設楽) 神。神事に手をたたいてうたう歌を「志多ら歌」といい、子供が手拍子をとって歌う遊技としても日本各地に残っています。

現在の「ふしだら」という語源も、太鼓がうまく打てる者を「しだら」、打てない者を「ふしだら」といった事が始まりとされています。

志を持った者達が集まり一つの事を成し遂げていくという意味も込められています。



## プログラム

- 一、神馬 (締太鼓7台)
- 二、屋台囃子 (秩父夜祭屋台)
- 三、獅子
- 四、たたこうコーナー  
(参加体験)
- 五、山紫水明 (笛・笙・太鼓)
- 六、大太鼓
- 七、煮瀨
- 八、花祭り  
(東栄町無形文化財)